

せん妄について

せん妄とは…

せん妄は、様々な要因によりからだに何らかの負担があったときに、脳にも負担がかかることで生じる意識障害のことです。

要因と症状

一般的にせん妄を生じる要因は、脳の準備因子・せん妄を促進する誘発因子・せん妄を引き起こす直接因子というように分類されます。また、せん妄を生じることで様々な症状や特徴行動が見られます。

直接因子

・炎症・脱水・貧血・電解質異常・薬剤性など

誘発因子

・入院・不眠・身体的苦痛など

準備因子

・高齢・認知症・脳梗塞・アルコール多飲など

過活動性

・点滴の抜去、切断 ・転倒、転落 ・徘徊
・眠りが浅くなる ・昼夜逆転など

低活動性

・ボーっとする ・やる気が起きない
・時間、場所がわからない ・混乱など

*1日に両方の症状が出現することもあります。

せん妄を起こす可能性のある薬剤（直接因子となる薬剤）

せん妄のリスクがあるとされている薬剤は多岐にわたり存在しますが、一例を下記の表に示しました。

薬剤分類	代表的一般名（商品名）
ベンゾジアゼピン系睡眠薬	・リルマザホン（リスミー®） ・フルニトラゼパム（サイレース®） ・プロチゾラム（レンドルミン®） など
三環系抗うつ薬	・イミプラミン（トフラニール®） ・クロミプラミン（アナフラニール®） など
フェノチアジン系抗精神薬	・クロルプロマジン（コントミン®、ウインタミン®） など
抗パーキンソン病薬	・トリヘキシフェニジル（アーテン®、セドリーナ®） ・ピペリデン（アキネトン®） など
抗ヒスタミン薬（第一世代）	・ジフェンヒドラミン（レスタミンコーワ®、トラベルミン®） ・d-クロルフェニラミンマレイン酸（フスコデ®、ペレックス®）
ヒスタミンH ₂ 受容体拮抗薬	・ファモチジン（ガスター®） など

せん妄の治療と予防

せん妄の治療は、非薬物療法が第一選択になります。またせん妄予防も非薬物的介入が最も効果的であるとされています。気持ちの問題やこころの病気と思われがちですが、そうではなく体に起こる症状のひとつであるため適切な治療でせん妄は改善します。

治療	予防
<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の負担（直接因子）の除去・軽減 →直接的身体疾患の治療 →原因薬物の減量・中止 ・ 脳機能の乱れ（誘発因子）の調整 →夜間の興奮や不眠等の症状の緩和に対し、抗精神病薬、睡眠導入剤の必要最低限使用 ・ 安心できる環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かす →日中に散歩などで起きている時間を作ることで生活リズムを整える ・ 痛みや不安を取り除く →強い痛み、不安はせん妄発症につながるため我慢せず、担当医師等に相談 ・ 適切な水分補給

薬物治療

前記のとおりせん妄治療の第一選択は非薬物療法であり、日本でせん妄に対する保険適応を有する薬剤は、チアプリド(グラマリール®)のみとなっています。本剤添付文書の効能・効果には「脳梗塞後遺症に伴う攻撃的行動、精神興奮、徘徊、せん妄の改善」とあります。しかし実際の臨床現場では抗精神病薬が保険適用外で使用されていたことから、2011年に厚生労働省より以下に示す4剤に関して「器質的疾患に伴うせん妄・精神運動興奮状態・易怒性に対して処方した場合、当該使用事例を審査上認める」という通達がされました。

薬剤名 (商品名)	添付文書上の効能・効果
ハロペリドール (セレネース®)	統合失調症、そう病
リスペリドン (リスパダール®)	統合失調症、小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性
クエチアピン (セロクエル®)	統合失調症
ペロスピロン (ルーラン®)	統合失調症

※日本総合病院精神医学会のせん妄の治療方針では4剤にオランザピン（ジプレキサ®）を加えた5剤を推奨している。

ご家族のみなさまへ

患者様がせん妄を起こした際には、意識が混乱し、不安になられていることが多いため、ご家族がそばにいてだけで患者様は安心されます。いつも通りに接してあげてください。つじつまの合わない話をされても、無理に正す必要はありません。身の回りに危険物（ハサミ、ライターなど）を置かないよう注意してください。不明点、お困りのことがございましたらお気軽にご相談下さい。



参考文献：各薬剤添付文書・インタビューフォーム
 日本老年学会 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015
 厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 薬剤性せん妄
 野白有里子, “入院中のせん妄発症とせん妄ハイリスク薬使用の関係” 松江市立病院医学雑誌, 2018 第22巻 第1号: 33-35
 荒井啓行, “2. 認知症, うつ, せん妄” 日老雑誌, 2011; 48: 651-654
 済生会熊本病院 精神科回診ホームページ